

小野市議会だより

Ono city assembly



がんばりたいこと
たくさんあるよ



今日から一年生
新たな一歩が始まります

第378回 3月定例会

一般質問

- | | | |
|-----------------------|--------|--------|
| まつもと ひであき ふじ わら あきら | ・ 松本英昭 | ・ 藤原章 |
| おかしま まさあき たか さか じゅん | ・ 岡嶋正昭 | ・ 高坂純子 |
| かわ な よし ぞう まつ い まさ し | ・ 川名善三 | ・ 松井精史 |
| かわしま み な たけ うち おさむ | ・ 河島三奈 | ・ 竹内修 |
| やま もと ご ろう やま なか おさ み | ・ 山本悟朗 | ・ 山中修己 |

議会傍聴

3月定例会 82人
〔23年度累計 360人〕

3月定例会終わる

こんなことが決まりました	2～4
一般質問の発言者	5
一般質問の内容について	6～10
議員の派遣について	11
政務調査費の収支報告	11
常任委員会の審査報告等	12～13
議会運営委員会の報告	13
予算特別委員会の審査報告	14～15
議会の動き	16



3月
定例会

こんなことが決まりました。

3月定例会は、2月27日から3月27日まで30日間開催しました。平成24年度当初予算をはじめ、平成23年度の補正予算や条例制定などを含む議案39件を原案のとおり可決・同意しました。

一部改正された条例

小野市暴力団排除条例の制定について

「暴力団を恐れない」、「暴力団に金を出さない」、「暴力団を利用しない」という暴力団追放3ない運動を基本理念として、社会からの暴力団排除を推進していこうとするものであり、市が発注する公共工事等の契約その他事務事業や公の施設からの暴力団排除に関する措置を定めようとするもの。

小野市福祉総合支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について

福祉のワンストップサービスを目指す福祉総合支援センターの設置及び管理に関する事項を定めようとするものであり、同時に従来の保健セ

ンター機能については、福祉総合支援センター機能の一部となるため、「小野市立保健センターの設置及び管理に関する条例」を廃止しようとするもの。

小野市消防団員等公務災害補償条例及び議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

これらの条例中に引用してある「生活介護」の定義に係る障害者自立支援法の引用条項が、同法の改正に伴い、ずれを生じたために、引用条項の整備を図ろうとするもの。

小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（いわゆる「食品リサイクル法」）に基づいて、食品廃棄物等多量発生事業者は、大量に発生

している食品廃棄物について、飼料や肥料等の原材料として再生利用が図れるように登録再生事業場に搬入すべき規定が設けられたことによる条例改正を行うもの。

出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

外国人住民の在留管理について、外国人登録原票による管理から住民基本台帳による管理へと移行されることになり、「外国人登録法」が廃止され、外国人についても日本人と同様に住民基本台帳制度の対象者として住民票が交付されるようになる。これに伴い、当条例で改正しようとする4条例（小野市手数料徴収条例、小野市長寿祝支給条例、小野市福祉年金条例及び小野市印鑑条例）について、「外国人登録法」を前提に規定されている条項の整備を図ろうとするもの。

小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

兵庫県福祉医療費助成事業実施要綱の改正にあわせ、重度障害者の所得判定単位を県制度と同一のものに改正し、所得判定単位を「同一世帯内の最上位所得者」から「世帯合算（合計）所得」に変更しようとするもの。ただし、年少扶養控除の廃止

による所得増加を避けるために、従前の年少扶養控除があったものとして所得計算が行えるように改正しようとするもの。

小野市立ひまわり園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

障害者自立支援法の施行に伴い、ひまわり園を知的障害者通所授産施設から障害者自立支援法の規定に基づく新事業体系に移行する必要が生じ、施設の種別及び定員を知的障害者授産施設40人から、生活介護事業25人及び就労継続支援B型事業15人の複合型施設に変更を行うとするもの。

小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について（反対討論あり）

第5期介護保険事業計画（平成24年度から平成26年度まで）における介護サービスの見込量により、その給付費に必要な保険料を算定し、保険料の基準年額を48,000円から61,200円に改定しようとするもの。同時に、所得に応じた介護保険料の段階的区分について、7段階区分から、低所得者に配慮するため特例区分を新たに設けるとともに、8段階区分としようとするもの。

小野市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

地域主権第1次一括法により、公営住宅法が改正され、公営住宅に入

居する要件としての同居親族要件が廃止されたものの、同法に規定されていた同居親族要件及び収入基準額について、引き続き、条例上規定しようとするもの。なお、例外的に高齢者、障害者その他の特に居住の安定を図る必要がある者については、単身入居が可能である旨を従前のおり規定しようとするもの。

あわせて、「小野市営住宅設置に関する条例」を廃止し、同条例の内容を本条例に規定するとともに、本条例の題名を「小野市営住宅条例」に改正しようとするもの。

小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

現在、図書館北側で整備中の公園を「図書館北広場」として都市公園に位置付けるとともに、平成22年度から拡張工事を実施してきた「山田の里公園」についても、一般公園から都市公園に編入しようとするもの。

小野市手数料徴収条例及び小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

小野市手数料徴収条例

「危険物の規制に関する政令」の一部を改正する政令の附則第13条に準に関する政令」が改正されており、その中で「特定屋外タンク貯蔵所」の設置許可申請に係る手数料について、「浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所」に加えて、「浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所」の設置許可申請に

係る手数料を追加しようとするもの。
小野市火災予防条例

「危険物の規制に関する政令」第1条の改正により、「炭酸ナトリウム過酸化水素付加物」が、消防法上の第1類危険物に追加されたことに伴う所要の経過措置を規定しようとするもの。

小野市立コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

老人福祉センターみやま荘の廃止後、高齢者のコミュニティの場としてコミュニティセンターおの402号室の多目的ホールが活用されてきたが、この402号室の多目的ホールを今後も高齢者のコミュニティの場として活用するとともに、あらたに地下に多目的ホールを貸室として設置しようとするもの。

小野市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地域主権第2次一括法により図書館法が改正され、図書館協議会委員の任命基準が削除され、条例で、地域の実情に応じて幅広い分野の方が図書館協議会委員となるよう任命基準を定める必要が生じたため、基準を定めようとするもの。



主な議案

北播磨総合医療センター企業団規約の変更について

北播磨総合医療センター開設後の運営に係る経費負担について、①三木市と小野市の人口比率、②現在の両市民病院に対する交付税額を基礎として、三木市10分の6、小野市10分の4の負担割合を規約に定めようとするもの。ただし、医療制度の改正など、医療をめぐる環境が著しく変化した場合には、両市において負担割合について協議できるように規約において規定しようとするもの。

兵庫県市町村職員退職手当組規約の変更について

平成24年4月1日付けで「北播磨体不自由児機能回復訓練施設事務組合わかあゆ園」が「北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園」に名称変更されることに伴い、同組合が加入している「兵庫県市町村職員退職手当組規約」を変更しようとするもの。

兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

外国人住民の在留管理について、外国人登録原票による管理から日本人と同様に住民基本台帳制度の対象とされることになったことから、この規約中に規定してある「外国人登録原票」の文言を削除しようとするもの。

小野市都市公園の管理に係る指定管理者の指定について

都市公園となる「図書館北広場」の指定管理者について、隣接する小野市うるおい交流館と一体的管理を行うため、NPO法人北播磨市民活動支援センターを指定管理者として指定しようとするもの。

小野市道路線の認定について

市道1741号線外6路線の合計7路線について、道路法第8条第2項の規定に基づき、新たに市道として認定するため、議会の議決を得ようとするもの。

小野市道路線の変更について

市道1632号線外3路線の合計4路線について、起点又は終点の変更を行うため、道路法第10条第3項の規定に基づき議会の議決を得ようとするもの。

市立小野東小学校仮設校舎建設工事請負契約について

工事名 市立小野東小学校仮設校舎建設工事
相手方 神戸市中央区磯上通4丁目1番6号
大和リース株式会社 神戸支店
支店長 辰巳 和平

小野市副市長の選任について

榎山町 井上嘉之 氏（再任）
粟生町 小林清豪 氏（再任）

契約金額 1億1,130万円

議員提出議案等

小野市農業委員の推薦について

平成24年4月19日に任期満了となるので、農業委員会等に関する法律第12条第2号の規定により、次の4人を学識経験者として議会が推薦することに決定しました。

- 榎山町 上田隆三 氏
- 阿形町 横山清信 氏
- 高田町 大西清文 氏
- 中谷町 岸本邦昭 氏

兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

平成24年3月31日に任期満了となるので、議会において行った選挙により決定しました。

- 副市長 井上嘉之 氏

補正予算関係議案

今回の補正は、小野東小学校校舎整備事業の増額、トランシーバーなど消防団安全対策設備の充実、将来の投資を見据えた公共施設整備基金への積立金などの経費を計上するとともに、人事院勧告に伴う人件費、各事業の決算見込みによる減額などの補正を行うものとするものです。

平成23年度小野市一般会計補正予算(第7号)

補正額 372,000千円 減額
補正後総額 20,452,600千円

平成24年度会計別予算総額

安全・安心の推進、子ども・子育ての支援、市民力・地域力の創造、都市と自然の調和に重点を置いた、平成24年度当初予算が上程され、予算特別委員会で付託審査の結果、可決されました。(介護保険特別会計予算について、反対討論あり)

(単位:千円)

会計別		平成24年度
一般会計		20,020,000
特別会計	国民健康保険	5,863,000
	介護保険	3,314,000
	後期高齢者医療	428,000
	小計	9,605,000
企業会計	都市開発事業	67,800
	病院事業	4,540,000
	水道事業	1,920,000
	下水道事業	3,081,000
	小計	9,608,800
合計		39,233,800

平成24年度当初予算関係

平成23年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 1,135千円 追加
補正後総額 5,677,135千円

平成23年度小野市介護保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 11,969千円 追加
補正後総額 3,043,689千円

平成23年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 6,484千円 追加
補正後総額 401,484千円

平成23年度小野市都市開発事業会計補正予算(第2号)

収益的支出 補正額 17,500千円 追加

平成23年度小野市水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出 補正額 43,000千円 減額
資本的支出 補正額 111,000千円 減額

平成23年度小野市下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出 補正額 55,200千円 減額
資本的支出 補正額 152,000千円 減額

※予算特別委員会で、議員から出された意見や指摘・要望等は、14・15ページに詳しく掲載しています。



(あたらしいことがいっぱい。わくわく)

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成24年 3月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

松本英昭議員

- ・消防署を取り巻く応援協定について
- ・防火水槽及び消火栓の基準数について
- ・消火器具の盗難防止対策について
- ・市防災センター建設について

藤原章議員

- ・大震災復興支援と小野市の防災対策について
- ・学校教育をめぐる対応等について
- ・小野市のまちづくりについて

岡嶋正昭議員

- ・雨水対策について
- ・神戸電鉄粟生線について

高坂純子議員

- ・小野東小学校校舎大規模改修事業の進捗状況について
- ・小野市における自転車交通指導について
- ・結婚応援プロジェクトについて

川名善三議員

- ・議案第2号 平成24年度小野市一般会計予算について
- ・議案第10号 平成23年度小野市一般会計補正予算(第7号)について

- ・議案第24号 小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

松井精史議員

- ・小野長寿の郷(仮称) 構想エリアの整備について
- ・婚活支援について
- ・浄土寺周辺の活性化について

河島三奈議員

- ・地域の防災訓練の取組について
- ・母子保健事業について
- ・神戸電鉄粟生線の見通しについて
- ・小野市詩歌文学賞について

竹内修議員

- ・小野市ICT教育について
- ・震災時の救急救命の体制について

山本悟朗議員

- ・21世紀の交通のありかたについて

山中修己議員

- ・議案第10号 平成23年度小野市一般会計補正予算(第7号)について
- ・議案第17号 小野市暴力団排除条例の制定について
- ・「小野警察署の新設」について
- ・複線型人事管理制度について



研政クラブ
松本英昭議員

防火水槽及び消火栓の基準数について

質問 市内の防火水槽は、基準数512カ所に対し、現有数は452カ所であり、消火栓は、基準数1484カ所に対し、現有数1305カ所であり、これらの基準数はどのように算出されているのか。

答弁 設置基準は、住宅等の対象物から1つの消防水利に至る距離が市街地では100m以下、準市街地では120m以下、その他の地域では140m以下となるように設置しなければならぬと国の告示等で定められています。その「消防水利の基準」を基に、基準数を算出しています。
(市当局)

市防災センター建設について

質問 消防機能や防災対策機能を備

え、また災害時には、災害対策本部となり得る「防災センター」建設の実現に向けた考え方を伺います。

答弁 消防庁舎は、昭和46年に建築されてから41年が経過して老朽化が進んでいる事、消防救急無線が国の方針により平成28年5月末までにアナログ方式からデジタル方式へ移行することが決定された事、災害発生時において地域に精通した首長が、直接指揮命令を発する事が不可欠である事、緊急防災・減災事業について新たな財政措置が講じられることにより費用負担が軽減できるようになった事から、市としては広域消防に参加せず、市単独で整備します。「防災センター」は、防災情報の一元化・高度化・共有化を図り、防災知識の普及・啓発の「総合防災情報システム機能」、及び復旧対策を実施する「災害対策本部機能」を備え、自家発電装置や貯水槽を整備します。
(市長)



日本共産党
藤原章議員

小野市の防災対策と住宅耐震改修助成について

質問 市の防災対策見直しを問う。

答弁 県が、地域防災計画を本年3月に見直しされる予定。22年5月の県発表の地震予測では、小野市の予測最大震度が7という最も強い震度となっている。専門家の意見を聞き、国及び県の計画に沿って見直しを進めていく。
(市当局)

質問 新設された民間住宅の耐震改修助成制度を問う。

答弁 県の助成は、耐震改修工事費の1/4で上限80万円である。本市は、それに加えて同工事費の1/4で上限30万円を上乗せ助成する。
(市当局)

学校教育について

質問 武道の必修科目化に伴う指導・安全対策を問う。

答弁 小野市は柔道の指導体制並びに安全対策は充実している。(教育長)

質問 高校学区拡大はどのような影響が予想されるかを問う。

答弁 デメリットは、身近な普通高校に進学しにくくなるという危惧。メリットは、選択肢が拡大されること。交通の便等を考えると、小野市の生徒への影響は極めて軽微であると考えている。
(教育長)

小野市のまちづくりについて

質問 現市民病院の跡利用について問う。

答弁 リハビリや療養機能を有する病院と、介護サービスも提供する特別養護老人ホームを併設する案を進めている。
(市当局)

質問 重要な地区の活用構想に市民の意見をどう反映させるか問う。

答弁 KDDI跡地はすでに多様な意見を頂いている。ある程度計画が具体化すれば活用検討委員会を設置し整備していきたい。医療センター周辺や青野ヶ原病院跡は、一定の方向が出れば市民のご意見をお聞きして国や県に働きかけたい。(市当局)



市民クラブ
岡嶋正昭議員

雨水対策について

質問 市街化区域内の雨水対策について伺う。

答弁 昭和54年から事業認可を受け事業に着手。全体の約67%の区域が事業認可を受け整備を行っている。整備状況は、主な幹線は約7割の整備が完了。(10年確率で時間雨量約50mmに対応出来る能力のある幹線水路の整備に取り組む。)

県道18号線東側の雨水幹線は、住宅が新築されたことから、整備を急ぐ必要があると考えている。また、神鉄小野駅南側区域は、道路管理者と分担して雨水整備を進めるべく地元調整を行っている。整備には、用地の確保や周辺住民のご理解とご協力が必要不可欠であり、周辺の方々と協議を行い建設的に進めていきたい。(市当局)

神戸電鉄粟生線について

質問 神戸電鉄粟生線の設備投資状

況について伺う。

答弁 利用者の要請等もあり、昭和50年の第1期から昭和63年の第4期までの間、順次、複線化工事を実施し、車両の長編成化も行った。しかし、平成4年度をピークに利用者の急速な減少により、利用実態に即して第4期の複線化工事は凍結していると説明を受けている。(市当局)

質問 神戸電鉄粟生線が廃線となった場合の影響について伺う。

答弁 仮に廃線になれば、通勤・通学などに利用している年間100万人の市民が会社や学校に行けなくなり、高齢者や子どもたちの交通手段が無くなる。また、バス等の代替交通だけでは、道路渋滞による時間の超過、利用料金や車両維持費など市民の負担は増加する。また、地価の下落等々の影響もある。

存続には、神鉄の企業努力はもとより、「乗って残そう未来の粟生線」との思い、市民の意識改革により、一人でも多くの市民の利用が維持・存続の最重要課題と考える。(市当局)



高坂純子議員

小野東小学校大規模改修事業の進捗状況について

質問 仮設校舎の建設場所及び完成予定と運動場に関して伺う。

答弁 学校東側土地を考えていたが必要面積に足りず、また教育環境の確保を考え運動場南側に建設する。8月中旬完成予定。9月(2学期)から使用予定。工事期間中の体育授業は、運動場の4割と体育館を利用する。運動会は大池総合公園運動場で行う予定。仮設校舎撤去後の運動場への車両進入口は、既存の場所から少し移転して設置する。(市当局)

小野市における自転車交通指針について

質問 道交法の一部改正により13歳未満児は歩道を走ることも可能なことから、自転車安全教室の取組の強化について伺う。また、小野市連合PTAが実施したアンケート結果では、小学生のヘルメット着用率も低いよ

うなので啓発について伺う。

答弁 小学校等と連携して、更なる安全な自転車運転の啓発に取り組む。道交法には「保護者は児童又は幼児に乗車ヘルメットをかぶらせるように努めなければならない」旨の保護者の義務を明記している。家庭で指導をして頂くのが基本。(市当局)

質問 近年、自転車事故が多い半面保険加入が少ないが、学校で啓発はできないのか伺う。

答弁 任意保険である為に保護者の判断となるが、交通安全講習等の機会を通じて啓発していく。(市当局)

婚活応援プロジェクトについて

質問 街コン(街ぐるみの独身者の交流)等で、出会いのきっかけ作りを行うことはどうか伺う。

答弁 アイデアは良いと思うが、結婚は個人の自由で、自立・主体性が大切。基本は、民間の発想で取り組んで貰いたい。行政がお金を出して行うことかどうかは難しい。(市長)



公明党
川名善三議員

議案第2号 平成24年度一般会計予算について

質問 特定不妊・不育症治療費助成事業300万円の具体的内容について

答弁 特定不妊治療費の助成は、1回の治療費に対し県の助成額15万円に市単独分として5万円を上積みし、年間2回合計10万円の支援を行うものです。

また、不育症治療費への新たな支援策として、平成24年度から年額10万円を上限とした「不育症治療費助成制度」を立ち上げようとするもので、24年度は10組分、100万円を予定しています。県下自治体で初めての取組となるこの支援制度について市では、4月早々の運用を目指して関係医療機関と運用面などでの協力をお願いしているところです。

(市当局)

議案第24号 小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

質問 改正に至る経緯について

答弁 高齢化の急激な進展に伴い第5期介護保険事業計画期間（平成24年度～26年度）において、要介護認定者がこれまでに比べ約300人、15.4%程度増加すると予想され、介護サービスの利用量と給付額が大幅に上昇する見込みです。本市の今後3年間の介護給付の総額は、現在の1年度28億円規模から35億円規模まで拡大する見通しであり、単年度で約6億4千万円、3カ年で約19億2千万円、24%増の追加需要を支える為、現在の保険料の見直しが避けられなくなつたことによります。なお第5期事業期間中の保険料率については、昨年8月から5回にわたり開催された「小野市介護保険運営協議会」において慎重に審議賜り、全委員一致で「介護保険料の改訂は必要」との決定を頂いています。(市当局)



研政クラブ
松井精史議員

小野長寿の郷（仮称）構想エリアの整備について

質問 人口増は小野市のパロメータ。小野長寿の郷構想の見直し案について問う。

答弁 構想の内容は、市場地区は、北播磨総合医療センターや、兵庫青野原病院周辺の「メディカルゾーン」、周辺に福祉施設を配置する「医療周辺ゾーン」、交流拠点施設や公園を整備する「森ゾーン」が配置され、森ゾーン内には、健康・医療に関連する企業の誘致を図る「ラボラトリエリア」が設置されている。山田地区は、居住ゾーンと位置付けられている。自然環境を保全しながら、直径500mほどの集落を4カ所配置し、全体で900戸の住宅を整備。想定される人口は1500人と計画されております。

(市当局)



婚活支援について

質問 「おせっかい」で仲を取り持つ制度の支援について問う。

答弁 この制度に対して、基本的には行政が関与することではないと考えています。今後研究して参りますが、民間での取り組みが望ましい。

(市当局)

浄土寺周辺の活性化について

質問 浄土寺周辺に、朽ちたビニールハウスがあり美観を損ねている。整備の考えについて問う。

答弁 「きよたにいっぶく堂」は、国宝浄土寺の来場者の休憩所として、また、地元農産物を利用した農産物加工販売施設としてオープンします。朽ちたビニールハウス施設は個人の所有であり、この農地の整備を市が直接行うことは考えていません。農地の健全な保全は農家の責務と考えます。地元から提案があれば、その後、何が出来るのか、どのような支援をするべきかを検討します。

(市当局)



改革クラブ
河島 三奈 議員

地域の防災訓練の取組みについて

質問 消防ハートフルチャレンジ講習会についてその実績と効果を問う。

答弁 実績は、平成22年7月の実施開始から本年2月末までの期間に各町自治会を中心に延べ40回、受講者1156人もの市民に受講していただいている。効果は、北播磨5市1町のなかで救急発生件数が最小になり、住宅用火災警報器の設置率も最高となっている。また、この事業の実施により全ての職員が各担当者意識を払拭し課題意識を共有することができた。(市当局)

質問 主に子どもに対する広報と啓発について問う。

答弁 子どもを対象とした講習会や訓練は、体力・習得力等の面から鑑みて実施していないが、学校単位で行われる避難訓練や各種イベント等

で体験や説明を聞いていただき、防災火意識の普及に努めている。救命講習では、今回の改正から受講者のすそのを広げる目的で、受講対象が中学生以上から概ね10歳以上に広がったので、この際、親子での受講等を積極的にPRしたい。(市当局)

小野詩歌文学賞について

質問 小野詩歌文学賞の実績とこれからの取組みについて問う。

答弁 詩歌文学賞の歴代受賞者は、名実ともに日本を代表する方々であります。一流の先生方の話を聞き感化されたいと、他県から生徒とともに参加される学校もある。文化意識の高いまちとして全国に小野市の名をとどろかせ、文学を志す子どもたちの文化的未来も示唆している。今後、心を豊かにする文化、市民の誇りとなる文化への投資として継続し、小野市の無形資産として市民に還元できることを目指す。(市長)



公明党
竹内 修 議員

小野市ICT教育について

質問 小野市のICT教育は先進的な取組みがされています。

答弁 最近、iPadの活用が特別支援学校等で一層注目されています。iPad導入が予算案に計上されているが、どの様に活用されるのか伺う。

答弁 小野市においてはiPadの教育効果についていち早く注目し、予算案に調査研究の為の経費として計上しています。

小野特別支援学校に、iPadを5台を配置し、特別支援教育の中でiPadの効果的な活用方法を研究してまいります。

研究の内容ですが、障害を持つ児童生徒にとって、教育を受ける際の便利な使い方や、コミュニケーション手段としての便利な使い方など、そして、インターネット上に公開されているiPad用の様々なソフト

の学習効果などについて調査研究していく予定です。(教育長)

震災時救急救命体制について

質問 救急救命活動は、震災時に限らず各種災害の初期態勢の中で重要な任務です。消防課、救急救助課などの機能は、万一、震災や救急救助事案が発生した場合どのような体制になっているのか。また、職員定数や南分署の果たすべき役割について伺う。

答弁 消防職員は64名で定数から言いますと5人少ない状況です。火災などの際には、決して十分とは言えない数ですが非番員の招集を行うなど、その対応は可能であると考えています。

南分署は、災害現場への到着時間を考慮し、管轄地域を設定して業務を実施しています。また、大規模な災害では、消防団や自主防災組織と連携し、その業務を、救急救命に重点を置き実施していきます。(市当局)



研政クラブ
山本 悟朗 議員

21世紀の交通のありかたについて

質問 21世紀の交通のありかたとして「自動車に頼った都市交通システムではなく、公共交通機関が充実し、公共交通と自動車利用のバランスのとれたまちづくり」について考えを伺う。

主となる点は、「公共交通の充実を図ることによって、一世帯の二台目以上の自動車を市民が手放すことができないか」です。

市内には一世帯に二台目以上保有されている乗用車が約一万台あり、これらの自動車を市民が手放し、公共交通を利用するようになれば、公共交通の利用が担保される。一方で、通勤や買い物等での利用が容易にできるように、市内のバス路線を充実させることによって、「自動車がないと生活できないまち」から、「自動車があっても生活できるまち」へ

変革し、次のような効果が生まれてくる。①CO₂排出量を大幅に削減できる。

②交通事故の発生を抑制できる。③歩く機会が増加することにより健康増進効果が期待できる。④自動車でのすれ違いではなく、人と人の出会いが生まれる。⑤自動車を運転できない市民の移動が容易となり、家族の送迎の負担が減少する。⑥店舗等が道路沿いに拡散する移動距離の長いまちの姿が、バスターミナル、駅周辺などを中心とした移動距離の短い、コンパクトなまちに生まれ変わる。

答弁 個人が行う資産の取得や譲渡、並びに結婚等それぞれの生き方については、行政は関与すべきでない。多様な価値観があり、個人が自由かつ主体的に多様な生き方を構築すべきである。個人財産である自動車の保有台数を削減する事のメリット・デメリットを分析されているが、現実的にあり得ないと考える。現実を直視せずに、机上で議論することはできない。
(市長)



市民クラブ
山中 修己 議員

「北条鉄道」について

質問 一般会計補正予算(第7号)北条鉄道運行対策経費70万円の目的と具体的内容について問う。

答弁 北条鉄道の経営を安定させるため、基金として積み立てていた固定資産税相当分(70万円)を取り崩して補助する。経営面でも月一回の経営会議開催を提案等してきた。前向きな投資は増額する予定。(市長)

新設「小野警察署」について

答弁 署の組織、内容等は県警で計画されるが、犯罪抑止活動や取締り、交通事故防止と処理、地域の安全活動、少年非行の防止等所謂本署機能が小野に設置されます。防犯協会・交通安全協会は、警察との連携・協力が不可欠であり、署の隣接への設置が望ましい。県・県警と連携して検討します。安全安心パトロールの

狙いは警察署と連携・協力しながら、いわばニッチの部分埋めることであり、市の重要なオンリーワン施策として引き続き運用していきます。
(市当局)

複線型人事管理制度について

質問 管理職の定義とライン・スタッフ職手当のバランスについて問う。

答弁 管理職の定義は条例で規定しています。所轄する業務と職員管理を行い、行政事務の運営について直接の権限と責任を有する職員です。ライン職とスタッフ職の手当については、職務と職責に応じて明確な差をつけるべく、成果と報酬の連動する体系を目指し、本年4月からその改定を予定しています。(市当局)

答弁 現行手当は責任と役割によって、もっと明確に差をつけていく。但し、手当総額は変えない。本来、職種の難易度によって給与体系が違う制度にすべきである。管理職の定義も検討する必要がある。
(市長)

沖縄国際映画祭「地元CMコンペ」に議員を派遣しました

- 1 派遣内容 沖縄国際映画祭「地元CMコンペ」
- 2 派遣場所 沖縄県那覇市
- 3 派遣期間 平成24年3月24日(土)から3月26日(月)まで
- 4 派遣議員 前田光教議員



沖縄国際映画祭の地元CMコンペは、「あなただけが知っている地元の魅力を、吉本興業の芸人とともにCMにしてグランプリを目指そう！」と銘打って行われたもので、全国各地から約900通もの応募が同映画祭実行委員会に寄せられました。

小野市からは、観光課職員が応募した小野の魅力を全国発信するアイデアが、第1次選考、第2次選考を経て、最終ノミネートの10件に勝ち残り、地元出身の吉本芸人と市民約150人などが出演するCM『おの恋』を作りコンペに臨まれました。

議会では、グランプリを発表する同映画祭に議員を派遣し、小野市のPRと出席した市職員や関係者の激励等を行いました。

小野市のCM『おの恋』は、小野に来て欲しい、小野に恋して欲しい、小野で恋して欲しい、そんな想いのこもったすばらしいCMでしたが、最終選考の結果、惜しくもグランプリを逃したものの、所期の目的を大いに果たされたものと考えています。



平成23年度 政務調査費収支報告

会派に対する政務調査費一人あたり年間22万円交付

(単位:円)

		市民クラブ	改革クラブ	研政クラブ	公明党	高坂純子	藤原章	中井澄夫
		5名	3名	3名	2名	1名	1名	1名
収入	支給額	1,100,000	660,000	660,000	440,000	220,000	220,000	220,000
	研究研修費	51,100	106,420	213,730		98,660		
支出	調査旅費	899,839	209,840	406,353	345,639	150,784	23,690	96,550
	資料作成費	26,880	4,279	14,484				
	資料購入費	16,700	27,510	28,740	31,500	2,470	39,850	
	広報費						5,000	
	広聴費							
	計	994,519	348,049	663,307	377,139	251,914	68,540	96,550
	差引額	105,481	311,951	-3,307	62,861	-31,914	151,460	123,450

※平成23年度は5月1日からの任期のため、年額が22万円(通常24万円)になっています。

※差引額がマイナスになった会派は、そのマイナス額を議員が個人負担しています。

※差引額がある会派は、その額を市に返還しています。

《各常任委員会に付託された議案》

◎総務文教常任委員会◎

- 議案第19号 小野市消防団員等公務災害補償条例及び議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第27号 小野市手数料徴収条例及び小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第28号 小野市立コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第29号 小野市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第30号 北播磨総合医療センター企業団規約の変更について
- 議案第31号 兵庫県市町村職員退職手当組合格約の変更について

審査の結果、反対討論はなく、すべて全会一致で可決すべきと決まりました。



3月定例会の提出議案審査付託について、3月23日に総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。

審査付託議案は、議案第17号から議案第35号の19議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

常任委員会審査報告

◎民生地域常任委員会◎

- 議案第17号 小野市暴力団排除条例の制定について
- 議案第18号 小野市福祉総合支援センターの設置及び管理に関する条例の制定について
- 議案第20号 小野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第21号 出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第22号 小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第23号 小野市立ひまわり園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第24号 小野市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第25号 小野市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第26号 小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第32号 兵庫県後期高齢者医療広域連合格約の変更について
- 議案第33号 小野市都市公園の管理に係る指定管理者の指定について
- 議案第34号 小野市道路線の認定について
- 議案第35号 小野市道路線の変更について

審査の結果、議案第24号については、反対討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきと決まりました。

その他の議案については、反対討論はなく、すべて全会一致で可決すべきと決まりました。



閉会中の常任委員会所管事務調査報告

12月定例会において、小野市議会会議規則第98条第1項の規定により申し出をしていました閉会中の所管事務調査を下記のとおり実施し、その内容を3月定例会第1日目に議会で報告しました。

総務文教常任委員会

1 開催日 2月3日(金)

2 調査事項

- (1) 公金の適正管理について
- (2) 資金運用管理について

3 担当課 会計課

4 調査報告

今回調査を行った公金の適正管理と資金運用管理は、会計事務の極めて重要な部分であり、今後とも引き続き調査をしていきたい。

なお、公金の資金運用については、現下の経済情勢に鑑み、引き続き安全な運用を図りたい。



民生地域常任委員会

1 開催日 1月16日(月)

2 調査事項

- (1) 小野市における介護保険制度の状況について
- (2) 第5期介護保険事業計画の内容について
- (3) 第5期介護保険事業計画のポイントについて
- (4) 地域包括支援センター事業について
- (5) 高齢者福祉施策について

3 担当課 市民福祉部高齢介護課

4 調査報告

小野市福祉行政の概要や事業計画等について細部にわたり調査を行い、今後の常任委員会活動に活かすとともに、目まぐるしく変化する国の福祉に関する法改正等についても注視していきたい。



議会運営委員会報告

3月定例会(2月27日~3月27日)の議会運営について、2月20日に議会運営委員会を開催しました。

委員会では、3月定例会に市長から提出される議案の取り扱いについての審査や、予算特別委員会の設置、議会運営委員会までに提出された陳情書の取り扱いなど、30日間にわたる議会運営等について協議を行いました。

また、3月9日及び27日には、市長から提出される追加議案についても慎重に審査しました。



議会運営委員会とは?

議会運営委員会は、地方自治法第109条の2の規定に基づき小野市議会委員会条例により設置され、その名称及び定数が定められております。委員会では、次に掲げる事項に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。

1. 定例会等の日程について
2. 議会運営に関する事項について
3. 委員会条例及び会議規則について
4. 議長の諮問に関する事項について

予算特別委員会意見

予算総額 392億円

平成24年度の小野市予算が、3月定例会に提出されました。これを受け議会は、全議員による予算特別委員会を設置して、3月14日、15日、21日に予算審査を実施。新年度予算が、市長施政方針にあった「20年、30年先を見据えた新たな創造と変革」にどのような形で反映されたのか、そして市政をどのように運営するのかなど、多くの意見が出されました。

予算特別委員会が各部局へ要望した意見は下記のとおりです。

付託議案 (8件)

議案第2号	平成24年度小野市一般会計予算
議案第3号	平成24年度小野市国民健康保険特別会計予算
議案第4号	平成24年度小野市介護保険特別会計予算
議案第5号	平成24年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
議案第6号	平成24年度小野市都市開発事業会計予算
議案第7号	平成24年度小野市病院事業会計予算
議案第8号	平成24年度小野市水道事業会計予算
議案第9号	平成24年度小野市下水道事業会計予算

総合政策部

◎コミュニティバス運行事業は、地域住民を中心としたワーキンググループによる運行ルートやダイヤの見直し、フリー乗降制の導入などにより、平成23年度には過去最高の約72,000人の乗降者数になるなど、市民がより利用しやすいコミュニティバスになっている。

平成24年度には、もう1台増車して合計5台になるが、引き続き市民が満足するコミュニティバスとなるよう努められたい。

◎兵庫県「神戸電鉄栗生線資産負担軽減貸付金」に係る無利子貸付については、神戸電鉄に対する経営支援として8億7千万円の債務負担を算化されているが、8億7千万円は損失補償であるため、予算化はやむを得ないが、5年後の償還に向けて努力していただきたい。

総務部

◎高齢者等地域活動拠点づくり事業は、平成23年度から自治会館等を活用し、地域が主体的に取り組む

市民安全部

高齢者や子ども等の居場所づくりに対する支援であるが、今後とも市民力・地域力向上のため、積極的な事業実施に取り組まれない。

◎防犯灯の設置については、地元自治会からの要望により、これまでから鋭意取り組まれているが、今後道路照明灯並みの高照度の照明器具の採用を検討されたい。ただし、その場合は水稲の生育に悪影響を与えないようなものとなるよう配慮されたい。

◎安全安心メールは、登録者に電子メールで防犯や交通安全、防災情報などの安全安心情報を配信されているが、市民にとって大切な情報の共有化を図るためにも、更なる登録者の増に向けて取り組まれない。

市民福祉部

◎アフタースクール事業は、これまで各小学校の余裕教室などを利用して実施されてきました。今回、児童数が増加している小野小学校で初の専用施設を整備することとなる

4年連続の「積極型予算」



重点項目

- ・安全・安心の推進
- ・子ども・子育ての支援
- ・市民力・地域力の創造
- ・都市と自然の調和



るが、今後の需要等を十分考慮し、より良い事業運営となるよう努められたい。

地域振興部

◎住宅マスタープラン策定にあたっては、策定委員会を組織され、市における「住生活」や「住まいとまちづくり」に関する基本的な方向を定められるが、今後の市営住宅のあり方についても、十分な検討を行われない。

◎新都市中央線整備事業は、事業着手後これまで順調に進捗し、平成24年度は北播磨総合医療センターまでの道路舗装や、榊町側からの工事着手に取り組まれるが、早期の開通に向け、引き続き努力されたい。

消防本部

◎消防車及び救急車の更新時には、廃棄車両の有効活用並びに財源確保を図るために、インターネットオークションに出品するなど、新たな手法を調査・研究されたい。

教育委員会

◎新規事業として、各小学校区のコミセンごとに学習活動を中心とした寺子屋事業を、小学生を対象に実施されるが、事業効果を見る中で、今後対象を拡充することも検討されたい。

◎緑のカーテン配備事業は、夏季にゴーヤを学校の窓辺に植栽することにより、直射日光を遮り教室内の温度を下げ、省エネ及び学習効果向上に資するものと思われ、積極的に取り組まれたい。

◎市内6地区の各地域づくり協議会に対する補助金は、地域が主体性を持って自由に活用できるものとなっており、今後とも地域力の向上のため、継続的に取り組まれたい。

◎要保護・準要保護家庭就学援助経費については、経済的理由により就学が困難であると認められる児童・生徒に対して、就学に必要な経費の一部を援助する制度であるが、高校教育奨励金等とともに、今後とも継続的に取り組まれたい。

◎ 議会の動き ◎

【2月】

- 1日 民生地域常任委員会研修会
 - ♪ 全国市議会議長会基地協議会(東京)
- 2日 北播磨総合医療センター企業団議員協議会(三木市)
- 3日 総務文教常任委員会研修会
- 8日 エイジルネサンスパーテイ
- 8～9日 全国市議会議長会相談役会(東京)
- 9日 長崎県大村市行政視察受け入れ
- 9～10日 市民クラブ・公明党行政視察(今治市・三豊市)
- 11日 PTCA実践発表大会
- 12日 小野市スポーツ賞表彰式
- 13日 北播磨総合医療センター企業団議員協議会(三木市)
 - ♪ 播磨内陸医務事業組合協議会(加東市)
- 14日 セレモニーホール安全祈願祭
- 16日 兵庫県市議会議長会総会(神戸市)
- 20日 議会運営委員会
 - ♪ 市議会報編集委員会
 - ♪ 議員協議会
- 21日 北播衛生事務組合協議会(加東市)
- 21日～22日 研政クラブ行政視察(大府市・豊橋市)
- 23日 北播政経懇話会(加東市)
- 24日 北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合協議会(加東市)
 - ♪ 淡路市行政視察受け入れ
- 26日 東はりま芸能祭
- 27日 本会議(第1日目)
- 28日 小野加東広域事務組合協議会
 - ♪ らんらんバス出発式
- 29日 小野加東環境施設事務組合協議会

【3月】

- 5日 播磨看護学校卒業式(加東市)
- 8日 本会議(第2日目)
- 9日 中学校卒業式
 - ♪ 議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会

- 12日 本会議(第3日目)
- 14日 予算特別委員会(第1日目)
- 15日 予算特別委員会(第2日目)
- 16日 特別支援学校卒業式
 - ♪ 幼稚園卒園式
- 20日 きよたにいっぶく堂オープニング式典
- 21日 予算特別委員会(第3日目)
- 22日 小学校卒業式
- 23日 総務文教・民生地域常任委員会
 - ♪ 小野市新殖産品認定式・永寿企業並びに優良従業員表彰式
- 24日 国道175号西脇バイパス完成式典
- 27日 議会運営委員会
 - ♪ 本会議(第4日目)
- 28日 東播淡路市議会議長会監事会
 - ♪ 小野市都市計画審議会
- 29日 小野市商工会議所第2回通常総会

【4月】

- 2日 小野市福祉総合支援センターオープニング式典
- 8日 小野市消防大会
- 9日 特別支援学校入学式
 - ♪ 中学校入学式
- 10日 小学校入学式
- 11日 小野市老人クラブ連合会総会
 - ♪ シスメックス(株)新工場竣工式
 - ♪ 幼稚園入園式
- 13日 東播淡路市議会議長会定例会(加東市)
- 16日 近畿市議会議長会定期総会・理事会(神戸市)
- 17日 議会報編集委員会
- 21日 フラワーセンターオープニングセレモニー(加西市)
- 23日～24日 全国市議会議長会正副会長会議(神戸市)
- 26日 兵庫県市議会議長会総会(たつの市)
 - ♪ 小野市連合区長会総会
- 27日 議会運営委員会
 - ♪ 市議会報編集委員会
- 29日 兵庫みらい農業協同組合10周年記念式典(加西市)
 - ♪ 小野市青少年補導委員会総会

たくさんの傍聴ありがとうございました

傍聴者数が近年最高を記録!!

小野市議会では、開かれた議会をめざして、一人でも多くの傍聴者にお越しいただけるよう取り組んでいます。平成23年度は、近年で最も多い360人の方に傍聴にお越しいただきました。



これからも市民の皆様のお傍聴をお待ちしております。どうぞお気軽にお越しください。

傍聴者の休憩室を開設します



定例会の2日目と3日目は、傍聴者が休憩していただけるよう議場の隣に傍聴者休憩室を設営しています。セルフサービスのお茶も用意していますので、お気軽にご利用ください。

6月定例会日程

- 5月28日(月) (第1日) 10時～
- 6月22日(金) (第2日) 10時～
- 6月25日(月) (第3日) 10時～
- 6月29日(金) (第4日) 13時30分～

本会議の第2日と第3日は、議員の質疑、一般質問があります。

議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長、部長が答弁します。

託児コーナー開設します

6月22日(金)・6月25日(月)

ご希望の方は、6月14日(木)までに議会事務局までお申し込みください。



自宅にしながら議会の傍聴

市議会 LIVE中継 実施中!!

小野市のホームページからご覧いただけます。